

令和6年度 友好都市交流事業

飛島村～南種子町

ロケットロード研修報告書



愛知県海部郡飛島村

本研修のねらい

普段の生活から離れた地域やそこに住む人々との交流を通して、自己の見聞を広げるとともに、異なる文化や社会、価値観を理解・尊重する姿勢を養う。

→ 自分を高める・視野を広げる。

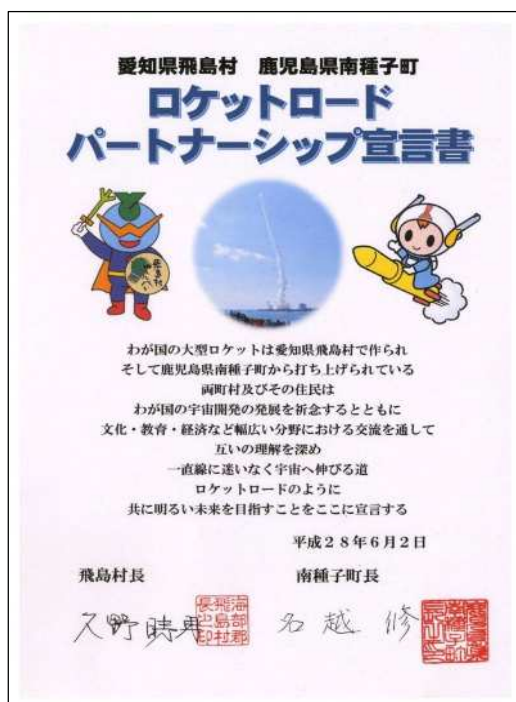
自分が住む地域と異なる地域について知るだけでなく、自分が住んでいる地域を見つめ直し、その良さを再発見させ、ふるさとを愛する心情を育む。

→ 飛島村のよさを再発見する。

地域にかかわる多様な体験を通して、これまで学習してきた知識を深め、自ら課題を見つけ学ぶ楽しさを味わわせる。

→ 学ぶ楽しさを味わってもらう。

飛島村と南種子町との関係



南種子町は鉄砲伝来の地として歴史ある側面をもつ一方で、種子島宇宙センターがあることから、歴史と未来が共存する町といわれています。

そんな南種子町の大型ロケットは、実は飛島村で作られています。そのような関係から、両町村の発展を祈念するとともに、幅広い分野における交流を通して、一直線に迷いなく宇宙へ伸びる道「ロケットロード」のように、共に明るい未来を目指すことを目的として、平成28年に友好都市関係を結びました。

【行程表】

1日目

中央公民館 12:20 中部国際空港 13:20 14:15 鹿児島空港 15:55 16:50 種子島空港 17:30 17:50 島宿HOPE 18:30

2日目

島宿HOPE 8:50 広田遺跡ミュージアム 9:00 11:20 種子島宇宙センター 11:40 昼食(宙飯屋)、施設見学など 16:25
南種子町役場 16:45 17:15 トンミー市場 17:20 17:45 島宿HOPE 18:00

3日目

島宿HOPE 8:50 千座の岩屋 9:00 10:00 たねがしま赤米館 10:15 10:45 門倉岬 11:00 11:50
昼食(田園) 12:10 13:00 種子島鉄砲館 14:00 15:00 種子島空港 15:30 16:35 鹿児島空港 17:10 18:50
中部国際空港 20:05 20:35 中央公民館 21:35



広田遺跡での
アクセサリ作り体験



南種子町の児童生徒と
宇宙センター見学



たねがしま赤米館周辺での見学



門倉岬



鉄砲館見学



帰着式

令和6年5月21日 応募説明会

友好都市交流事業に参加を希望する6年生14名とその保護者が説明会に参加しました。

参加を希望した全員が参加できるわけではなく、応募審査会で合格した10名が派遣団員として選ばれます。説明会に参加した生徒は事業の目的、飛島村と南種子町の関係性、応募方法や応募してからの流れについて、熱心に説明を聞いていました。

令和6年6月13日 面接練習会

応募審査会に向けて、面接の入退室の仕方や受け答えの際の姿勢等について練習を行いました。

最初は、初めての面接にとまどっている生徒もいましたが、説明を聞き、繰り返し練習を行ったことで、最後には全員自信をもって行動できるようになりました。

令和6年6月20日 応募審査会

審査会当日は、4人または5人で1組の集団面接を行いました。事前に練習したとはいえ、慣れない面接に緊張していました。どんなことを学びたいか、南種子町の生徒とどう交流したいかなど、しっかり説明できました。

【派遣団員名簿】

太田 幸作
鬼頭 直矢
三井 次郎

加藤 朱莉
鈴木 蒼馬
山田 瑠夏

加藤 大智
林 龍之介

加藤 優希
二村 旺至郎

【引率者名簿】

萩野 登記代 (教育長)
石井 一成 (教育委員会生涯教育課主事)

奥田 智子 (教育委員会生涯教育課主事)

【指導教諭】

中野 理恵 (飛島学園教諭)

令和6年7月2日 村長表敬訪問



団員10名が加藤村長に表敬訪問し、ロケットについて知りたい、南種子町の自然を見て家族に伝えたいなど決意を表明しました。

加藤村長からは、7月の合同研修で顔と名前を覚えて12月の本研修まで交流を深めてほしいとの話をいただきました。

令和6年7月11日 第1回事前研修

今年度は南種子町から派遣団の来村があるため、愛知県で行われる合同研修の行程確認や交流会で使う名刺・歓迎ボードなどを全員でアイディアを出しながら作製しました。



令和6年7月25日 合同研修

飛島村や名古屋市内で合同研修を行いました。中央公民館で名刺交換をしてお互いのことを知ったり、一緒に名古屋市内を見学する中で交流を深められました。



令和6年10月23日 第2回事前研修

南種子町についてグループごとにテーマを決め、タブレットを使って調べたり発表の準備をしました。

令和6年11月8日 第3回事前研修



団員10名と保護者に行程、持ち物や注意事項等の説明を行いました。

令和6年12月5日 第4回事前研修

第2回の事前研修で決めたテーマにそってグループごとに発表をしました。南種子町のことをさらに知ることができました。



令和6年12月24日～26日 本研修

いよいよ、待ちに待った本研修です。少し雨が降った日もありましたが、広田遺跡ミュージアム、種子島宇宙センターや千座の岩屋等、予定通りすべての見学場所を見て回ることができました。広田遺跡ミュージアムでは、ジュニア学芸員として2人の南種子町の生徒にも解説してもらいながらたくさんのことを学びました。



これが私の学び 研修テーマ「南種子町の自然」

飛島学園6年生 加藤 朱莉

【千座の岩屋】



私は南種子町の自然について知ってもらいたかったので、この写真を選びました。ここは「千座の岩屋」という所で、洞窟からの景色がきれいで、私が一番気に入った場所です。千人が座れると聞きましたが本当に座れるかと疑問だったけど中に入り口があり入っていくとまた広い洞窟があり千人が座われそうでした。

【たねがしま赤米館】



この田は赤米の田です。赤米は、古い時代から育てられていて、種子島では今でも作りつづけられています。島宿 HOPE の夕飯で赤米がでてうれしかったです。プチプチとした食感でおいしかったです。でも話を聞くと、赤米だけで食べると、ゴワゴワしておいしくないそうです。でも白米と一緒にたくとおいしいです。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

私は種子島の研修に行く前、特産品や自然について調べていて楽しみでした。特産品については、実際に安納芋や赤米を食べて、一番のお気に入りには安納芋でした。ポンカンのジェラートもおいしかったです。自然については、山や海がとてもきれいでした。NHK 鹿児島島のテレビ取材も受けたりして貴重な経験がたくさんできた研修でよかったです。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

南種子町は山や海がきれいだったけど、飛島村は田や畑が多くて農作物が豊富です。他にも、工業が発展していて、たくさんの交流があつていいと思いました。こうなるともっといいと思ったことは、お土産品をたくさん増やしたらいいと思いました。

これが私の学び 研修テーマ「南種子町の農業と歴史」

飛島学園6年生 加藤 優希

【希少な赤米】



私は南種子町の赤米と白米のちがいを知りたいと思ったのでこの写真にしました。この写真は赤米という希少な稲の種類です。日本の基本的な栽培種はジャポニカというものですが、赤米はジャポニカに近いといわれています。とくちょうは米の部分に「のぎ」（ひげ）が生えていて稲の高さが高いことです。実際に見てみて古代の稲は160cmぐらいに感じました。畑でも収穫できるということと、1度植えると2度収穫できるということが印象に残りました。

【歴史を感じる広田遺跡】



広田遺跡は集団まいそう墓の遺跡です。私は遺跡を見てその時代のことを知りたいと思ったのでこの写真にしました。まいそう方法のちがい、一緒にうめられている貝がらで作ったアクセサリーに上・下があることを知りました。上下のちがいとして、下はアクセサリーとして使われており穴が開いています。上はお守りのようにしていたので穴が開いていないというちがいでした。飛島村はかいこんされた土地なのでこういった歴史はありませんが、南種子町は昔からあるのでこのような遺跡があるのだと思いました。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

兄が研修に行っており、興味を持っていたので説明会で積極的に話を聞き、行ったときにどんなことをしたいのか具体的に考えていました。面接は初めてで気を付けることがたくさんあり、きんちょうしました。合格してとても嬉しかったです。事前に特産品・観光地などみりよくを調べていました。大きさや美しさ、特産品の味・食感のように調べてわからなかったことを現地で知れました。

飛島村は田んぼや畑が多く公共施設がたくさんあるところがいいと思いました。田園風景

飛島村は田んぼや畑が多く公共施設がたくさんあるところがいいと思いました。田園風景以外にも南種子町のように観光地をたくさん作るいいと思いました。例えば田んぼの形を工夫するです。また南種子町で実際に特産品を食べてとても美味しいことを知りました。飛島村はねぎ、ほうれん草が有名なのでこれを使い料理を作ること、これを使ったレシピを書くなどして興味を持ってもらおうと良くなると思いました。

これが私の学び 研修テーマ「種子島の特徴」

飛島学園6年生 鬼頭 直矢

【南種子町の自然】



ぼくは種子島の特徴、個性が知りたくて研修に参加しました。種子島は葉が落ちる季節なのにもかかわらず緑の葉がびっしりありました。それほど南国な場所だと思いました。温かかったけど海風があつてちょっと寒かったです。

【千座の岩屋】



千座の岩屋は千人座れることで有名です。映像では「本当に千人座れるの？」と思いますが、実はここ以外にもあり、さらに広い空間があります。

千座の岩屋は波にけずられてできた洞窟で江戸時代のときからずっと観光名所でした。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

面接ではかなり緊張したけど家でもかなり練習したのでその成果が出せてよかったです。自分がずっと行ってみたかった千座の岩屋は化石もあってびっくりしました。行きたくても行けなかった人もいたので、いろんなことを教えてあげたいです。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

飛島村のいいところは温水プールなど施設が良いところです。南種子町はロケット発射場や千座の岩屋など観光名所がありますが、飛島村にはそういった場所が少ないので、もっと名所を増やした方がいいと思いました。

これが私の学び 研修テーマ「種子島の自然・歴史」

飛島学園6年生 鈴木 蒼馬

【千座の岩屋】



千座の岩屋は、千人座れるほど広いので千座の岩屋と言われています。千人座れる広い洞窟がどうやって作られたかと言うと、太平洋の荒波で作られたと言われています。僕達が行った時は雨が降っていましたが小雨なので見れました。僕はこのようなきれいな海を守りたいと思っています。

【鉄砲館】



鉄砲館は鉄砲が伝来したときの鉄砲などが数多く展示されています。そこには鉄砲だけでなく、昔の動物、ウシウマや種子島の文化や歴史を紹介したジオラマがあり、とても興味深いものでした。建物は南蛮船をイメージしているようです。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

初めは南種子町の研修への参加に少し不安がありました。しかし7月に親切で明るい南種子町の人と名古屋で交流したこと、さらに、みんなで話し合い、研修テーマを考えていくうちに不安もなくなり、12月の南種子町への研修が楽しみになりました。研修当日は歴史や自然について学び充実したものでした。何より仲間や自分の村を大切に思えるようになりました。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

南種子町には自然が広がって、空気がきれいでした。飛島村も負けずにアピールできる名所や野菜を使ったオリジナル商品を作れないかと思っています。だれもが飛島村に行きたくなるような道の駅を作ったり、ブランド野菜なども良いと思います。また、今ある自然を守っていききたいです。

これが私の学び 研修テーマ「種子島の歴史と未来の希望」

飛島学園6年生 林 龍之介

【広田遺跡】



広田遺跡には、広田人と呼ばれる種子島の先住民族がまい
そうされた墓がいくつもあり、貝のアクセサリーを身にまと
っている人や、争いがあつた跡も見つかっています。見つか
つた貝のアクセサリーは4万4千点をこえているそうです。
また後頭部の形を変形させたり、うでに貝の輪をはめたりす
るなどの独特な文化があつたことを知りました。

【ロケットについて】



種子島ロケット発射場は、日本でも赤道に近いところにつくら
れています。赤道近くにある種子島から打ち上げることで、地球
の自転速度を利用して、ロケットを飛ばすことができるそうです。

ロケットを組立塔から発射台へ運ぶために「ドーリー」とよば
れる車を2台使います。ドーリーにはタイヤが56個ついていま
す。2台だけでロケットを運べることに驚きました。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

南種子町のことについてインターネットや本などで何度も調べてきました。夏
には、南種子町の子がやってきて、ともに飛島村のよいところや三菱重工の見学
をして、仲が深まりました。今回は3日間の研修で、本やインターネットで調べ
たことを目で見たり、実際に体験することができてとても自信がつけました。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

飛島村も種子島も農業がさかんに行われているところは共通していることだと思いますが、南種
子町には山も海も観光地としての見どころもたくさんありました。なので飛島村では、飛島村や種
子島のことについて知ってもらうためにツアーなどを開きたいともっといいと思いました。

これが私の学び 研修テーマ「南種子町の自然や産業」

飛島学園6年生 二村 旺至郎

【千座の岩屋】



千座の岩屋は南種子町を代表する観光地ということもあり、とてもきれいで、はく力がありました。千人の人が座れることから「千座の岩屋」とよばれていることは知っていましたが、実際に見てみると、そこまで広くありませんでした。ですが案内された道を通ると、さらにどうくつが広がっていて、とてもおどろきました。そして、どうくつから見た海がとてもきれいでした。

【トンミー市場】



トンミー市場では、特産品の安納いもを使ったおかしや宇宙関連のもの、新せんな野菜など、はば広いものが売っていました。そして、ぼくは安納いもを買おうとしたけれど、どれが良いのか分かりませんでした。迷っていると、市場の方が質の良い安納いもを選んでくれました。ぼくは改めて南種子町の人々は親切だなと感じました。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

南種子町に行くための作文は難しかったし、面接もきんちょうしたけれど、合格通知が来たときはとてもうれしかったです。南種子町の人達とたくさん関わって、新しい友達もできて、充実した3日間を過ごすことができました。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

飛島村の良いところは、貿易がさかんで、夏になると、すこやかセンターのプールがにぎわうところです。南種子町の人々も飛島村の人々も親切だと思いました。工業夜景をもっとアピールすると良いと思います。

これが私の学び 研修テーマ「種子島の自然のすばらしさ」

飛島学園6年生 三井 次郎

【千座の岩屋】



千座の岩屋は波で岩がけずれてできた洞くつです。千人もの人が座れる広さがあるというのが名前の由来です。干潮時には入ることができて中からは海が見えました。飛島村と種子島は海があるという共通点がありますが、種子島の海は観光などに使われていて飛島村の海は港に使われているという違いがあることが分かりました。どちらもその地形ならではの使い方がされており良いと思いました。

【特産品】



南種子町の特産品にはインギー地鶏、安納芋などがあります。そして南種子町には安納芋を活かした芋チップスやスイートポテトなどがありました。自分は安納芋を買って焼き芋にして食べたら甘くてとても美味しかったです。お菓子などを作り特産品を上手に活かしていると思いました。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

作文や面接はとても大変でしたが、南種子町に行き、ロケットや自然などについてたくさんのことを学び、とても貴重な体験ができたのでがんばって取り組んでよかったと思いました。友達と協力して充実した3日間を過ごすことができました。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

南種子町と飛島村には自然が多いことが共通点だと思いました。飛島村には南種子町のような観光地や特産品はたくさんありませんが、田畑などの自然を活かした他の地域にはないみりよく的な村づくりができれば良いと思います。

【ロケット】



私は、ロケットが好きなので、ロケットの様子がよく分かる、この写真にしました。南種子町は、ロケット発射場があることで有名です。そこで、打ち上げられているロケットは飛島村で作られています。今回、実際に見たり、きいたりして、ロケットについて、よく知ることができたので、よかったなと思いました。

【門倉岬の歴史と景色】



この門倉岬は、鉄砲伝来の地として知られています。そして、ここは初めて鉄砲が撃たれた地でもあるのです。

私が行ったときは、少し天候が悪かったけれど、種子島宇宙センターや屋久島が見えて、とてもきれいでした。門倉岬から見えた海も、青と緑がまざったような色になっていて、とてもきれいだなと思いました。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

私は、宇宙に興味があって去年の研修報告をきいて、行ってみたいと思っていました。初めての面接や苦手な作文の提出など大変なことがあったけれど、実際に行ってみたら、思ったことと違うことがあっておどろくことが多かった3日間だなと思いました。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

南種子町のトミー市場のように地産地消をするところを多くしたら良いと思います。飛島村は、工業の他にも農業がさかんです。飛島せんべいやもなかアイスのように、特産品を使った商品がもう少しあってもいいんじゃないかなと思いました。

発行日：令和 7 年 3 月

飛島村～南種子町
ロケットロード研修報告書

●発行：飛島村・飛島村教育委員会

これが私の学び 研修テーマ「日本の鉄砲の歴史・作り」

飛島学園6年生 安井 彩花里

【日本の鉄砲の歴史】



私は日本の鉄砲の歴史について考えてみたいと思ったので、このテーマにしました。火縄銃がポルトガル人から伝わったことは知っていましたが、外国の銃を見様見真似で作らず、自分たちで工夫して作っていることが分かりました。

【外国と日本の鉄砲の違い】



私は外国と日本の鉄砲の違いについて考えてみたいと思ったので、このテーマにしました。外国の鉄砲の長さは2mくらいあるので、日本の鉄砲は外国の鉄砲より短めだと分かりました。また、外国の鉄砲は、いろいろな種類があり、例えば緩発式、ホイール・ロック式等があることが分かりました。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

説明会の時は、飛島村と種子島はロケットでつながっていることしか知りませんでした。当日までみんなといろいろ調べながら学んだら、たくさんの共通点や違い、種子島の有名なものが分かり、種子島に行くのが楽しみになりました。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い!」と思ったこと

南種子町と比べてみて飛島村は、ロケット発射場や広田遺跡のような有名なものはありませんが、住民の人がとても優しいのは同じだと思いました。飛島村はお金持ちで有名ですが、それをいろいろと工夫したら、私はより良い飛島村になると思いました。お金持ちだけでなく農業も工夫すれば良いと思います。

これが私の学び 研修テーマ「種子島と飛島村の良さ」

飛島学園6年生 吉田 陽将

【千座の岩屋】



最初は海がきれいでびっくりしましたが、洞窟に入ると暗くて細い穴の道が何本もあり、迷子になりそうだなと思いました。「千座の岩屋」は種子島最大の海蝕洞窟で、千人も座れると言われているのでとても広かったです。洞窟内に入ることができるのは干潮の時だけなので、自然が作った不思議な洞窟へ行くという貴重な経験ができました。

【種子島宇宙センター】



ロケットの歴史、種類等の説明がたくさんあり、分かりやすかったです。また実物大の試験モデルを見ることができたり、宇宙ステーションの中にいるような部屋があったりして、楽しく学ぶことができました。ここからロケットが宇宙へ飛び立つところを実際に見てみたいと思いました。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

鉄砲が伝来し歴史に大きく影響を与えた種子島。宇宙開発を行い、未来に大きく影響を与えるかもしれない種子島。そんな種子島に行って自分の目で見て学びたい、そう思い応募しました。10人で協力して過ごした3日間は、驚きと発見にあふれていて楽しかったです。今回の研修で感じた感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

種子島は海がきれいで飛行機から見た夕焼けはとてもきれいでした。飛島村も田畑がたくさんあり、稲が夕焼け色に染まる景色はとてもきれいだと思います。飛島村の良いところは、この自然と人の温かさだと思います。ですから、田畑等の自然を使って人々が交流できるイベントがあるともっと活性化したいと思います。